

南部氏展示室だより ②



『甲斐源氏（加賀美氏と南部氏）と牧について』



奈良時代、御牧は朝廷の必要とする馬を確保するために、甲斐・信濃・上野・武蔵の4カ国に設置されたことにはじまる。甲斐国における御牧（柏崎・真衣野・穂坂）の設定は不明だが、信濃国よりも少し遅れ、以前からあった牧を再編したものと云われる。

その後、律令制（中央集権・公地公民の制）の崩壊により、甲斐源氏の一族は官牧に近接して私牧を経営し、戦乱の続く中で多くの牧場を傘下に治め勢力を拡大した。

「牧場経営」は甲斐源氏の主要財源となり、産馬の利益からその後の繁栄の礎を築いた。

新羅三郎義光に連なる加賀美遠光（義光から3代目）が、「八田牧（現南アルプス市）」などの御勅使川扇状地の「不毛の地」を選んだのも、牧場には格好の地であったからだと云われる。

遠光の三男光行は、その加賀美氏の勢力拡大の一環として南部（波木井以南）の地を譲られ、これを「姓⇒南部光行」として「牧」を興し良馬を育てたと云われる。（1180年治承・寿永の頃）

建久2（1191）年に、光行が甲斐南部郷から奥州糠部入部に際して、甲斐の馬を持ち込み、陸奥の馬と交配させたことにより、その後の「南部馬」の人為的・効率的生産の基礎を築いたとされる。⇒（管理牧畜への移行）

※光行糠部入部には諸説あり

歴史資料室準備委員 芦澤和彦

環境センターからのお知らせ

可燃ごみの処理について

町民の皆様には、日頃から「ごみの分別・生ごみの水切り」等にご理解ご協力をいただき有り難うございます。

町では平成24年8月より峡南衛生組合へ可燃ごみの処理を委託して、今年の8月で6年目に入りました。環境センターでは町民の皆様に「可燃ごみの出し方について」もう一度確認をお願いいたします。



○ごみの出し方について

- ①町指定の袋を使用していますか
- ②袋に氏名等は書いてありますか
- ③生ごみの水切り等は十分されていますか
- ④プラスチック容器包装類、ミックス紙等の資源ごみは分別されていますか

可燃ごみを出すときには①から④のことについて確認をお願いいたします。

上記のことに関する問い合わせは、環境センター（☎67-3619）へお願いします。

南部町子育て支援医療費助成金の対象年齢が 平成29年10月より拡大となります!!

子育て支援医療費助成金条例改正により、医療費助成金の対象年齢を下記のとおり引き上げることとなりました。

○対象者

平成29年9月30日まで

「南部町に住所を有する者で、満**15**歳に達する日以降の最初の3月31日までの子ども」



平成29年10月1日から

「南部町に住所を有する者で、満**18**歳に達する日以降の最初の3月31日までの子ども」

※受給者証については平成29年10月1日までに対象世帯に郵送させていただきます。

なお、現在受給者証をお持ちの15歳までのお子様についても、有効期限の新しいものを郵送させていただきます。（15歳までのお子様の分については申請等の手続きは必要ありません。）

お問合せ 子育て支援課 ☎ 64-4830（直通）

救急車の適正利用について

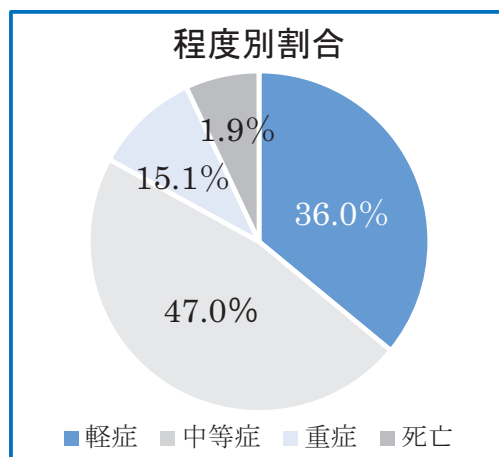
峡南消防本部管内の平成28年中の救急出場件数は**2,442件**に上っており、2,302人を病院へ搬送しました。1日あたり6.69件の救急出場があり、一見少ないように感じますが、峡南消防本部管内は面積が広く元々救急出場から帰署までの時間が他の消防本部に比べ時間を要していることに加え、管内医療機関の状況から管外搬送が増加していることもあり、1件あたりの救急出場時間が長くなり**救急車が消防署を留守にする状況が頻繁に起こっております。**

近年、単なる酒酔いや切り傷、捻挫程度のけが等緊急性がないのに救急車を要請されるケースが増えており、救急搬送した傷病者のうち入院の必要がない

軽症者の割合が36%にも上ります。

緊急性がなく自分で病院に行ける場合は自家用車やタクシーなど救急車以外の交通機関などを利用して受診して下さい。

町民の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。



傷病者の様子や事故状況をみて緊急を要する場合には迷わず119番通報をしてください。

この情報に関するお問い合わせ先

峡南消防本部警防課または通信指令課代表 055-272-1919